

平成25年度
事業報告書

学校法人河原学園

【学校法人の沿革】

昭和60年10月	学校法人河原学園が認可される
昭和61年4月	愛媛電子ビジネス専門学校開校
昭和63年3月	通産省情報化人材育成連携校に指定される
昭和62年11月	文部省より職業高度化開発研究機関として指定される
平成2年4月	新居浜市に国際電子ビジネス専門学校開校
平成7年4月	愛媛医療福祉専門学校開校 国際電子ビジネス専門学校を大原簿記専門学校新居浜校と改称
平成8年4月	大原簿記専門学校松山校開校
平成11年4月	大原簿記専門学校松山校を愛媛大原簿記公務員専門学校と改称 大原簿記専門学校新居浜校を国際テクニカルビジネスカレッジと改称 国際情報高等学院開校
平成11年10月	中国大連市に大連河原日本語学校を開校
平成12年10月	愛媛電子ビジネス専門学校に文化・教養課程日本語学科を新設
平成13年4月	国際デザイン・アート専門学校開校
平成16年4月	アイペットワールド専門学校開校
平成19年4月	愛媛医療専門大学校開校 国際トータルビューティカレッジ開校 未来高等学校開校
平成20年4月	国際パティシエ・ブランジェ専門学校開校 愛媛医療福祉専門学校に柔道整復師科を設置 未来高等学校新居浜分校開校
平成21年4月	愛媛医療福祉専門学校に鍼灸師科を設置
平成22年4月	愛媛医療専門大学校に歯科衛生学科、歯科技工学科を設置
平成23年3月	学校法人岡崎学園人間環境大学、大学院、人間環境大学岡崎学園高等学校、中学校を河原学園グループへ迎える
平成23年4月	河原学園グループ専門学校9校校名変更
平成24年4月	河原パティシエ・医療・観光専門学校にエアライン・観光科、ブライダル・ホテル科、医療秘書科を設置 河原パティシエ・医療・観光専門学校校舎を6階建てへ増築
平成25年4月	河原高等専修学校開校
平成26年4月	学校法人岡崎学園（愛知県岡崎市）と法人合併し、人間環境大学・大学院、岡崎学園高等学校、岡崎学園中学校が設置校に加わる

【設置する学校・学部・学科等】

学校名	開校年月	学部・学科等	摘要
河原電子ビジネス専門学校	昭和 61 年 4 月	高度情報技術科 (3 年制) 高度情報技術科 (4 年制) ゲームクリエイター科 情報システム科 情報ビジネス科 日本語学科 (1 年制、1.5 年制、2 年制)	「マルチメディア科」「CG・Web クリエイター科」は平成 26 年 3 月をもって廃科。 「高度情報技術科」は平成 27 年度より「IT エンジニア科」に変更予定
河原 IT ビジネス専門学校	平成 2 年 4 月	総合情報学科 総合ビジネス学科	
河原医療福祉専門学校	平成 7 年 4 月	介護福祉科 社会福祉科 こども未来科 (2 年制) 柔道整復師科 鍼灸師科	「こども未来科 (3 年制)」は平成 26 年度より募集停止中。 「社会福祉科」は平成 27 年度より「社会福祉メディカルソーシャル科」に変更予定
大原簿記公務員専門学校 愛媛校	平成 8 年 4 月	会計学科 (3 年制) 会計学科 (4 年制) 公務員専攻科 公務員ビジネス科 総合ビジネス科	「会計学科」は平成 27 年度より「税理士科」に変更予定
河原デザイン・アート専門学校	平成 13 年 4 月	グラフィックデザイン科 デジタルデザイン科 漫画クリエイター科 インテリア・建築デザイン科	「ファッション・インテリアビジネス科」は平成 25 年度より募集停止中。
河原アイペットワールド専門学校	平成 16 年 4 月	動物看護師学科 グルーマー学科 しつけインストラクター学科	「しつけインストラクター学科」は平成 27 年度より「ドッグトレーナー・ペットビジネス学科」に変更予定
河原医療大学校	平成 19 年 4 月	看護学科 理学療法学科 作業療法学科 歯科衛生学科 歯科技工学科 医療クラーク学科	
河原ビューティモード専門学校	平成 19 年 4 月	美容学科 理容学科 トータルビューティ学科	「トータルビューティ学科」は平成 27 年度より「メイク・エステ・ネイル学科」に変更予定
河原パティシエ・医療・観光専門学校	平成 20 年 4 月	パティシエ・ブランジェ科 エアライン・観光科 ブライダル・ホテル科 医療秘書科	
未来高等学校	平成 19 年 4 月	広域通信制 普通科	
未来高等学校 新居浜分校	平成 20 年 4 月	通信制 普通科	
河原高等専修学校	平成 25 年 4 月	調理師養成学科	

【事業の概要】

(1) 法人合併

平成23年3月より河原学園グループとなった人間環境大学における看護学部および大学院看護学研究科の設置を推進するため、平成25年度は学校法人河原学園と学校法人岡崎学園の法人合併手続きを進めた。平成26年1月22日付で文部科学省より合併認可を得ることができ、平成26年4月1日をもって学校法人河原学園は学校法人岡崎学園を吸収合併し、人間環境大学・大学院および岡崎学園高等学校、岡崎学園中学校を新たに運営することとなった。

(2) 看護学部及び大学院看護学研究科の設置

人間環境大学において、新たに看護学部および大学院看護学研究科の平成27年4月設置に向けて、設置認可申請および寄附行為変更認可申請を文部科学省への平成26年5月提出に向けて現在準備を進めている。

(3) 職業実践専門課程

専修学校9校において、新たに制定された「職業実践専門課程」の認定申請を行い、全9校31学科が認定を得ることができた。愛媛県内の専修学校を有する学校法人としては、唯一本学園が認定校を持つ学校法人となった。認定初年度においては、全国で2811校中472校（認定率16.8%）が認定された。平成26年度以降は認定されたことにとどまらず、自己点検評価を軸とした学校運営管理を推進し、社会に求められる実践的な人材を輩出することを目的として、より効果的かつ有益な人材を生む教育力の向上に取り組んでいく。

職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会を開催し、より実践的な人材育成を果たすべく、おもに各職業分野の有力企業から意見収集を行いカリキュラムの見直しを行った。

《委員会開催状況》

平成25年11月	第1回教育課程編成委員会
平成25年11月	学校関係者評価委員会
平成26年1月	第2回教育課程編成委員会

(4) 教務力向上

コマシラバスの関係では、シラバス+コマシラバス+履修判定指標を1セットとして、各期の各科目最初の授業コマにおいて学生に配布し、各科の目指す人材目標とその科目との関係について解説を行っている。以後の授業コマにおいては、シラバスセットを持参させ、各授業コマの最初に、そのコマのシラバスとの関連やポイントを解説後、授業を行っている。さらに、その科目の履修判定試験時に科目ごとに学生授業アンケートを実施し、アンケート結果を次年度にフィードバックしている。今後はさらに、各校で採用した新人教員に対して、職業教育の意義やシラバス+コマシラバス+履修判定指標の作成方法についての研修を実施する予定である。

(5) 自己点検評価

文部科学省の「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の

項目を自己点検評価の中に組み込み、学校関係者評価委員会議事録とともに自己点検・評価報告書の情報公開を行った。

(6) 退学者防止

退学理由の根本原因は、ほとんどが学業不振であるという考えに基づき、小テストの実施に及び補習対応をシステム化することを中心に退学者防止に努める。

(7) その他

消費税増税など経費が増大する中、より一層の教育環境の充実を目的として、専修学校9校における学費の見直しを行い、平成27年度入学者より学費を変更することを決定した。